

紀元 2633年
西歷 1973年



昭和48年元旦



英知を結集して
新しい町づくりを

大豐町長 門田盛一郎



謹んで新春のお祝詞を申し上げます。町民の皆様には輝かしい四十八年の



春をお迎えしたことを心からお慶び申し上げます。昨年は我が国の内外共に激動の年といわれ、目まぐるしい情勢の変転を見た訳でありまして、発想の転換を求められた年でもありました。

我が大豊町におきましては、町議会議員各位並びに各団体、機関の方々と共に町民の皆様との温かい御指導と御鞭撻によりまして着々と町政の向上が期せられておりますことを厚く感謝申し上げます。

昭和三十年に四ヶ村の合併以来、十余年の歴史を積み重ねて来ました。「大豊村」が「大豊町」としてスタートしました機会に、新らしい町づくり而努力する覚悟であります。

時代の要請によって来た生活圏を中心とした公共施設の建設はもとより農林業振興施策の根幹となる基盤整備、住民の福祉向上に直結した制度の大胆な導入を図りつつ、県県の動向をふまえながら行政の推進を進めます。まいりたいと思います。

年頭のあいさつ

地すべり地帯にある我が大豊町にあって美しい自然環境があります。郷土愛に燃える一万二千余の町民がおられます。皆さん英知を結集して、揺れ動く国の情勢に立ち向わなければならないと思います。自然と調和した開発計画を強力に推進し、住民福祉の向上を図りたいと思いますので何卒宜しくお願いします。「愛情ときめの細かい町政」をモットーに住民総意を結果しながら、新しい大豊町の建設をお願いします。また私の年頭所感といたします。

えた本町の現況は既に御承知の通り施設面では統合による大豊中学校、豊永小学校、目下建築中の立川小学校及び立川中学校の統合に伴う寄宿舎が、四開の緑に調和して建築され更に待望久しかった学校給食センターの開設、大豊中学校ブルー建設並びに大豊中学校中洲運動場も着々整備されてつあります。

心身一転のとき

町発展に果敢に取り組む

町議会議長 寺石由雄



町民の皆さん、明けましておめでとございます。

昨年末は衆議院議員の総選挙で国政を担当する新しい選良がきまり、いよいよ本年から七〇年代の新しい政治が行なわれようとい

人は いさ 心も しらず ふるさとは
花ぞ むかしの 香に 匂いける

(大豊町立高等家政学校にて)

教育の振興充実に努力

町教育委員長 岡 林 良 治

新春の
を迎え
謹し
でお祝
詞を申
し上げ
ます。
学校
教育に
ついて
は日頃
皆様
の格別
な御理
解によ
りまし
て外部
的にも
容的に
あり御
七才を
迎

の尾川小学校が築により、四月
一日開校の予定でありま
す、申すまでもなく学校統
合は学力の向上を期するは
勿論のこと、多様化した社
会生活に不可欠の調和性、
社会性を身につけた青少年
を育成するにあります。こ
の目的を達成するためには
学校、家庭、地域社会の調
和のある協力に期待するほ
かありません。

新しい四八年におきまし
ては、義務教育は勿論のこ
と、社会教育の振興充実を
図り、皆様の御期待に添う
より努力したい所存であり
ますので尚一層の御指導御
協力を念願致しまして年頭
のご挨拶と致します。

局長 重森元龜

委員長	副委員長	委員	委員	委員
畑山善郎	大幸二郎	前武盛	上由雄	上村茂明
宮内正章				

教育民生常任委員会

委員長	副委員長	委員	〃	〃	〃
美濃	西村	大坪	吉川	山中	西岡
英由	彦四郎	俊郎	永晴	茂榮	丈

産業経済常任委員会

委員長	副委員長	委員	委員	委員
秋山弘安	田辺正克	上村辰雄	小笠原武繁	桑名芳雄
				上村周一郎

建設常任委員会

委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員
北村 寿夫	松岡 勝英	上村 孝行	小笠原 茂	松岡 春美	岡崎 啓
鈴木 友茂					

総務常任委員会

議 長	副 議 長
寺 石	上 村
由 雄	周 一 郎

大豊町議会

ごめい



明けまして
おめでとう

